

事務事業名		葛生各地区敬老会開催事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	公民館管理課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	葛生地区公民館		担当課長名	石川 一尚
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14472	一般	10	4	2	葛生各地区敬老会開催事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	老人福祉法第5条第3項		実施方法		一部委託	
	事業区分		事業分類		講座・教室・イベント等開催事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	事業区分		市長マニフェスト		該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
敬老の日にあわせて、各地区実行委員会主催による敬老会を、あくとプラザを会場として開催し、高齢者(75歳以上対象)の健康と長寿をお祝いする。 ・内容 式典及び余興(サークル団体のコーラス・フラダンス、歌手「新井みつ子」) ・事業費 送迎用バス借上料(7台分)、消耗品代			9月14日(日)に葛生あくとプラザにおいて、葛生地区、常盤地区、氷室地区の各実行委員会合同による敬老会を開催した。								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
参加者数			人	294	284	300	300	300			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
地域に在住の75歳以上の高齢者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
75歳以上の高齢者数(葛生地内)			人	2,282	2,296	2,300	2,300	2,300			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
地域に貢献されてきた高齢者を尊び、長寿をお祝いする敬老会に招待し、生涯のよろこびの糧として頂く。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
参加人数/対象者数			%	12.9	12.4	13.0	13.0	13.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
敬老会開催に、地域の人々が高齢者のために式典や余興等にかかわることにより、社会参加を推進する。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
ふれあいサロン参加高齢者(延べ)			人	61,082	66,000	64,232	61,082	66,000			
老人福祉センター利用者(延べ)			人	148,959	144,000	140,071	148,959	144,000			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	374	344	482	482	482	
		事業費計(A)	千円	374	344	482	482	482	
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		消耗品費	33	消耗品費	31	消耗品費	33	消耗品費	33
		自動車借上料	341	自動車借上料	313	自動車借上料	449	自動車借上料	449
人件費	人	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
	時間	のべ業務時間	時間	50	50	50	50	50	
	千円	人件費計(B)	千円	195	197	197	197	197	
	千円	トータルコスト(A)+(B)	千円	569	541	679	679	679	

事務事業名	葛生各地区敬老会開催事業	担当部	教育総務部	担当課	公民館管理課	担当係	葛生地区公民館
-------	--------------	-----	-------	-----	--------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	20年以上前から行っている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢化率が高まってきている。加えて、独居世帯、高齢者世帯の増加傾向にある。敬老会の開催について、協力団体の支援縮小から従来の開催方法を改善していく必要がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	実施主体は、行政主導型から地域密着型へ移行して、内容を充実し参加者が増えるような企画運営が望ましい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	地域ごとの敬老会は運営する人員(ボランティア)の確保が困難であり、経費等の削減にはならない。合同開催することで経費削減や人員を確保している。
事業のやり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	開催される敬老会に参加することで、自身の健康に喜びを感じ、同年代との交流の場として更なる社会参加への促進に繋げる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	敬老会は市全体で敬老精神を尊び長寿をお祝いする催事であり、地域住民と協働して運営にあたるのが適切である。行政は地域を支え、最低必要な財政支援をすることが望ましい。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	高齢化社会の中、75歳以上を対象とすることは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	地域の協力団体(実行委員会を中心とした開催運営)を図っており、今後も地域住民との連携して参加者の関心を高めることが必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	敬老会の招待者を送迎する車両にかかる経費であり、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない		理由・改善案	敬老会は、全市をあげての長寿に対するお祝いなので負担を求めるべきでない
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
行政主導型から地域分散型(各地区単位)に移行し、開催継続が普及、定着した時点。ただし経費の一部救済的公費負担は存続が必要である。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 																							